



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月12日

上場会社名 株式会社テクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 5248 URL <https://technologies-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良原広樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 宮内駿 (TEL) 03(6432)7524
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績(2026年2月1日～2026年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	1,555	△37.2	△122	—	△194	—	△124	—
2026年1月期第1四半期	2,480	42.1	610	—	600	—	126	—

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 △184百万円(—%) 2026年1月期第1四半期 395百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	△7.35	—
2026年1月期第1四半期	7.47	—

(注) 2026年1月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。2027年1月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	24,678	4,855	5.7
2026年1月期	23,264	5,305	6.5

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 1,408百万円 2026年1月期 1,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日～2027年1月31日)

2027年1月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年1月期1Q	16,922,400株	2026年1月期	16,922,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年1月期1Q	612株	2026年1月期	612株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年1月期1Q	16,921,788株	2026年1月期1Q	16,921,788株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド増加、国内需要の回復等による社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢等を背景とした資源価格高騰等による経済活動への影響も大きく、先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、少子高齢化や人口減少を背景に労働生産性の向上を図っていくことが課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要が高まっております。

このような環境の下、当社グループは、「テクノロジーでより面白く、より便利な世の中を創造する」というビジョンのもと、映像ソフトウェア開発・AIといった技術領域や企業向けSaaS、太陽光発電設備の施工販売といったビジネス領域において、お客様にとって最大限の価値を創造できるようなサービスの提供に取り組んで参りました。具体的には、ITソリューション事業、SaaS事業、再エネソリューション事業、スポーツDX事業の4事業を展開しております。

当社グループは、ITソリューション事業において、主にエンタメ映像ソフトウェア開発やAI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心とした売上を計上しました。SaaS事業においては、人材派遣会社向け管理システム「jobs」を中心に販売実績を積み重ねてきました。再エネソリューション事業においては、太陽光発電設備の施工・販売による売上を計上しました。スポーツDX事業においては、主にスポーツビジネスにおける企画、興行事業に取り組み、当連結会計年度においては当該事業の一環として第二回となるイベントの準備を進めてまいりました。引き続き積極的な事業展開に邁進いたします。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が、1,555,584千円（前年同四半期増減率△37.29%）、営業損失は、122,044千円（前年同四半期は610,703千円の営業利益）、経常損失は、194,469千円（前年同四半期は600,196千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、124,514千円（前年同四半期は126,409千円の四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業においては、①エンタメ映像ソフトウェア開発、②AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心に展開しております。

その結果、売上高は、94,186千円（前年同四半期増減率△58.77%）、セグメント損失は、66,083千円（前年同四半期は30,624千円のセグメント利益）となりました。

(SaaS事業)

SaaS事業においては、主に自社プロダクトである人材派遣会社向け管理システム「jobs」の開発及び販売をしております。世界的な物価高騰等の影響下において多くの人材派遣会社がコスト削減を強いられる中、当社システムは価格体系において定額制を採用していることから、お客様に安心して利用頂ける製品となっており、継続して新規顧客を獲得することができております。また、システム導入に不慣れた企業様に対し、システム導入後のカスタマーサポートの体制を強化していることで解約率も改善傾向を維持しております。SaaS事業から生まれる収益から、関連する費用を差し引いた直接的な損益は黒字成長を達成・継続できております。会社全体の固定費の各事業への配賦は人員数により行っており、SaaS事業の担当人数が大きいことから計算上の営業損益では赤字の結果となっております。

その結果、売上高は、69,321千円（前年同四半期増減率42.33%）、セグメント損失は、16,850千円（前年同四半期は28,752千円のセグメント損失）となり、営業損益が改善しました。

当事業においては今後も中長期的に堅調な成長が見込まれると思われまます。

(再エネソリューション事業)

再エネソリューション事業においては、現在社会全体としてSDGsの達成や、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みが注目され、成長が見込まれる同業界に

において、長年の実績に基づくワンストップ体制でのサービスを提供しており、売上は堅調に推移しております。

その結果、売上高は、1,383,908千円（前年同四半期増減率△37.19%）、セグメント損失は、18,605千円（前年同四半期は608,831千円のセグメント利益）となりました。

（スポーツDX事業）

スポーツDX事業は、体制の構築とともに事業を始動し、スポーツビジネスにおける企画・興行事業の積極的な展開を進めております。当連結会計年度においては、第二回となる主催イベント「GOAT」の2026年5月28日開催に向けイベントの準備中であり、広告宣伝費の支出など販売費及び一般管理費が生じました。

その結果、売上高は、8,169千円、セグメント損失は、20,504千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、1,343,115千円増加し、14,429,190千円となりました。これは主に、前渡金が1,786,805千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して71,323千円増加し、10,249,290千円となりました。これは主に、土地が86,982千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,414,439千円増加し、24,678,480千円となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,840,452千円増加し、13,480,661千円となりました。これは主に、前受金が1,239,627千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は24,754千円増加し、6,342,683千円となりました。これは、借入等による長期借入金の増加121,626千円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,865,207千円増加し、19,823,345千円となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて450,768千円減少し、4,855,135千円となりました。これは主に、非支配株主持分が337,263千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.83ポイント減少し、5.71%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「テクノロジーでより面白く、より便利な世の中を創造する」というビジョンのもと、映像ソフトウェア開発・AIといった技術領域、ソフトウェアサービスの提供、企業向けSaaS、太陽光発電設備の施工販売、格闘技ビジネスにおける企画・興行といったビジネス領域において、お客様にとって最大限の価値を創造できるようなサービスの提供に取り組んでおり、今後も継続して①ITソリューション事業②SaaS事業③再エネソリューション事業④スポーツDX事業の4つのセグメントにおける事業展開に努めてまいります。引き続き、既存顧客に対して満足度の高いサービスを提供することに努めると共に、優秀な社員の採用や教育にも注力してまいります。また、M&Aによる新規事業・既存事業の領域拡大、販売拡大等により、一層の収益拡大を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

当連結会計年度（2027年1月期）の業績見通しにつきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素も多く、市場動向や顧客動向を踏まえた損益の合理的な予測が困難な状況であること、自社M&A等による成長速度の向上を推進していくもののその成否は見通せないこと、再エネソリューション事業において太陽光発電設備等に係る規制強化が見込まれており、現時点での連結業績予想につきましては非開示とさせていただきます。なお、連結業績予想については、合理的に予想が可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,292	2,405,038
受取手形及び売掛金	3,393,125	1,781,579
商品及び製品	28,146	443,146
仕掛品	43,490	122,029
原材料及び貯蔵品	42,547	41,070
未成工事支出金	2,055,143	2,955,690
前渡金	4,176,472	5,963,278
その他	756,648	719,990
貸倒引当金	△3,792	△2,631
流動資産合計	13,086,074	14,429,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	225,789	224,363
機械装置及び運搬具(純額)	794,353	754,339
工具器具及び備品(純額)	28,015	25,738
土地	6,962,446	7,049,429
リース資産(純額)	91,752	82,272
建設仮勘定	24,241	17,300
有形固定資産合計	8,126,598	8,153,443
無形固定資産		
のれん	43,052	42,204
その他	179,716	185,304
無形固定資産合計	222,768	227,508
投資その他の資産		
投資有価証券	14,416	15,073
長期貸付金	185,825	185,599
その他	1,670,101	1,709,410
貸倒引当金	△41,745	△41,745
投資その他の資産合計	1,828,598	1,868,338
固定資産合計	10,177,966	10,249,290
資産合計	23,264,041	24,678,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	639,620	852,837
短期借入金	5,799,790	5,950,491
1年内返済予定の長期借入金	1,023,198	1,081,457
1年内償還予定の社債	115,000	55,000
前受収益	207,351	250,683
未払法人税等	380,878	324,815
前受金	2,850,457	4,090,084
株主優待引当金	25,540	—
その他	598,371	875,291
流動負債合計	11,640,208	13,480,661
固定負債		
長期借入金	2,704,069	2,825,696
社債	170,000	150,000
リース債務	58,639	48,224
長期前受収益	1,807,678	1,789,121
訴訟損失引当金	259,559	—
資産除去債務	34,191	34,273
繰延税金負債	845,410	892,779
その他	438,379	602,588
固定負債合計	6,317,928	6,342,683
負債合計	17,958,137	19,823,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,300	641,300
資本剰余金	221,343	221,343
利益剰余金	670,754	546,239
自己株式	△328	△328
株主資本合計	1,522,069	1,408,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179	190
その他の包括利益累計額合計	179	190
新株予約権	10,640	10,640
非支配株主持分	3,773,013	3,435,749
純資産合計	5,305,903	4,855,135
負債純資産合計	23,264,041	24,678,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	2,480,489	1,555,584
売上原価	1,461,123	1,177,960
売上総利益	1,019,365	377,624
販売費及び一般管理費		
役員報酬	29,873	31,800
給与手当	97,810	108,234
支払手数料	62,362	84,357
その他	218,615	275,275
販売費及び一般管理費合計	408,662	499,668
営業利益又は営業損失(△)	610,703	△122,044
営業外収益		
受取保険金	2,348	14,389
受取利息	4,559	5,134
貸倒引当金戻入益	1,036	1,160
受取精算金	1,164	—
その他	17,906	11,228
営業外収益合計	27,015	31,911
営業外費用		
支払利息	31,806	70,761
支払保証料	1,796	—
その他	3,919	33,575
営業外費用合計	37,522	104,337
経常利益又は経常損失(△)	600,196	△194,469
特別利益		
固定資産売却益	25,221	549
特別利益合計	25,221	549
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	625,417	△193,919
法人税、住民税及び事業税	250,068	△46,957
過年度法人税等	△222	—
法人税等調整額	△21,369	37,637
法人税等合計	228,476	△9,320
四半期純利益又は四半期純損失(△)	396,940	△184,599
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	270,531	△60,084
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	126,409	△124,514

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	396,940	△184,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,426	30
その他の包括利益合計	△1,426	30
四半期包括利益	395,514	△184,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,744	△113,504
非支配株主に係る四半期包括利益	268,769	△71,063

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	再エネソ リューション 事業	ITソリュー ション事業	SaaS事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,396,090	228,422	4,946	1,629,460	—	1,629,460
一定の期間にわたり移 転される財	714,602	—	43,756	758,359	—	758,359
顧客との契約から生じ る収益	2,110,693	228,422	48,703	2,387,819	—	2,387,819
その他の収益(注2)	92,670	—	—	92,670	—	92,670
外部顧客への売上高	2,203,363	228,422	48,703	2,480,489	—	2,480,489
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	3,206	—	3,206	△3,206	—
計	2,203,363	231,628	48,703	2,483,695	△3,206	2,480,489
セグメント利益又は損失 (△)	608,831	30,624	△28,752	610,703	—	610,703

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損 益 計算書計上額 (注1)
	再エネソ リューション 事業	ITソリュー ション事業	SaaS事業	スポーツDX 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	1,116,505	94,186	9,285	8,169	1,228,145	—	1,228,145
一定の期間にわたり移 転される財	258,874	—	60,036	—	318,910	—	318,910
顧客との契約から生じ る収益	1,375,379	94,186	69,321	8,169	1,547,056	—	1,547,056
その他の収益(注2)	8,528	—	—	—	8,528	—	8,528
外部顧客への売上高	1,383,908	94,186	69,321	8,169	1,555,584	—	1,555,584
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	6,357	—	—	6,357	△6,357	—
計	1,383,908	100,543	69,321	8,169	1,561,942	△6,357	1,555,584
セグメント利益又は損失 (△)	△18,605	△66,083	△16,850	△20,504	△122,044	—	△122,044

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	90,746千円	40,532千円
のれんの償却額	783〃	848〃